



西区サポセン通信 Vol.10

©2013kobe city No.R2-004

「コロナウィルス禍における多職種連携」

神戸市西区医師会 副会長 久野 英樹 氏



本稿執筆中の令和3年11月現在、2回のワクチン接種完了者の割合が全体の約75%にせまるなか、第5波がようやく終息している状況です。そんな状況である今だからこそ第6波に備え、これまでの成功体験を多くの人に広め、失敗を反省する絶好の機会ではないでしょうか。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、包括的かつ継続的な治療・ケアを提供できるサービス提供体制が地域包括ケアシステムと呼ぶならば、今回の「新型コロナウイルス感染症」のパンデミックこそ、そのシステムを最大限利用できるよう考えるときです。診断・治療に携わってもらえる医師に協力要請し、それを現場で実践するために多職種間でも情報を共有し各々が高い専門性をもって業務分担をする。どの職種も欠けることなく、お互いが連携・補完し合う『チーム医療』を実践していくときです。コロナ禍においてこそ西区医療介護サポートセンターがその中心的役割を担って欲しいと思います。

11月11日に開催された西区医療・介護関係者の研修会では医師・薬剤師・看護師・ケアマネが演者となりこのコロナ禍におけるそれぞれの支援の実際や、みつかった課題などが発表され活発にディスカッションされました。コロナ患者への対応の難しさだけではなく多職種で連携できたことによる成功体験にはじまり、濃厚接触者の可能性のある家族に対するサービス提供の不安や、面会制限のため自宅で最期の療養を求める声に対応する際の負担など、様々な職種の実際の現場の話が詳しく聞けた非常に密度の濃い研修会になり、第6波の際には十分役立てる情報がえられたのではないのでしょうか。

まだまだ新型コロナウイルス感染症は我々にとって未知のものです。ヨーロッパや韓国ではワクチンの効果の低下に加え、ワクチン接種率の増加したことから感染対策を緩め、規制緩和をすすめた結果新規感染者が増加の一途をたどっています。それを教訓にして日本では、抗体価の低下する初回接種から約8か月前後でのブースター接種（3回目のワクチン接種）が実施におき動いています。それとともに、緩めることなく感染対策を続けていくことがいまわれわれのできる最善の方法ではないのでしょうか。感染者数がおさえられている今こそ連携を強める絶好のタイミングです。情報共有がその第一歩であり、一人でも多くの職種の方に参加いただけるこのような研修会の開催に今後も医師である我々が主体となって協力していき、連携を深めていきたいと思います。



「西区での業務紹介 ～在宅支援について～」

兵庫県歯科衛生士会 西区理事 江尻 真美 氏



現在新型コロナウイルス感染者数は、今年の夏の感染拡大が信じられないくらい減少してきています。11月25日現在兵庫県の新規感染者7人、入院患者33人（うち重症者4人）で自宅療養者13人となり緊急事態宣言も解除されたことにより、街に人が戻ってきました。ただ、これで新型コロナウイルス感染症との闘いが終わった訳ではないということは広く周知されています。

コロナ禍の中、私たち歯科衛生士の業務にも大きな影響がありました。第一波の時は、PPEの不足によりアルコール、マスク、グローブ、ペーパーエプロン、防護衣、フェイスシールド等が手に入りにくい状況になり、歯科医院内の診療でも訪問診療でもどれも必需品だったので大変苦勞しました。

感染拡大により、肺炎に対する恐怖から誤嚥性肺炎への危機感が高まり口腔健康管理に対する関心を持つ方が増えたと感じる時もありました。

在宅支援において私たち歯科衛生士の役割は、口腔機能状態の把握と改善・維持、そして安全に口から食べていただけるように支援することではないかと思えます。その方に合った口腔ケアを行うこと、それはもちろん大切ですがそれだけで終わるのではなく、これからは私たちが訪問させていただいた時だけお口を綺麗にして気持ちよくなっただけだけではなく、それを維持していくために患者様と一番長く接しておられるご家族に口腔ケアの手技をお伝えし、継続に繋がるようにご家族にも寄り添い患者様のために尽力していくことだと思えます。

現在、緊急事態宣言が解除され西区でも様々な業務が再開し、以前のように私達も活動できるようになりました。神戸市から委託されている高齢者の介護予防講座やフレイル改善通所サービス、赤ちゃんとお母さんのための健康教育、幼児と保護者のための児童館で行う健康教育、保育園児向けの健康教育などあらゆるライフステージの方々に向けた事業が再開されました。10月には兵庫県栄養士会と共に神戸市「チャレンジ神戸！KOB E健幸プログラム」（高齢者の保健事業と介護予防の一体型実施）に参加してきました。

オーラルフレイルがフレイル進行の前兆で、放置が大切であると栄養摂取が困難となり、フレイルや要介護状態につながることや、よく噛めない・うまくのみ込めないなどさまざまなお口の変化に早く気づいてオーラルフレイルを予防することあることを説明し、目標を持ち予防と対策で介護を必要としない健康寿命の延伸について講話をしました。

また、障がい者施設からの依頼で施設職員が1日3回行っている利用者様への口腔ケアをより良くするために直接職員の方にご指導させていただくことを目的として月2回施設に伺うという事業が10月より新たにスタートしました。

兵庫県歯科衛生士会からも10月16・17日にメリケンパークにて行われた、「ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバルin神戸」に参加をしました。ブースの出展もでき、久しぶりに市民の方とふれあう事ができました。斎藤元彦兵庫県知事も歯科衛生士会のブースに足を運んで下さいました。

最後になりますが、4年前から西区医療介護サポートセンターの西区課題抽出検討会議に参加させていただくようになりましたが、参加する中で私たち歯科衛生士はもっと多職種との地域連携や情報の共有できるよう繋がりを持つ努力が必要だと感じました。

今後も歯科医師会の先生をはじめ、各関係団体からのご指導もいただきながら頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



■ 第9回多職種連携事例検討会



開催日時：令和3年8月19日(土)14:00～15:30
 場所：オンライン (Zoom) 参加者：53名
 テーマ：在宅看取りにおける多職種連携
 内容：事例説明、パネリストディスカッション、意見交換(ブレイクアウトルーム)、質疑応答
 参加職種：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハ職、MSW、ケアマネジャー、福祉用具、包括他

座長・パネリスト：向原クリニック 向原進一医師
 パネリスト：さくら薬局明舞松が丘店 黒田英津子氏
 すみれ訪問看護ステーションテラト神戸西 西山 剛司氏
 // 松村美奈子氏：事例提供
 ケアプランセンターすみれWEST 勢川加容子氏
 ゆう・たるみ(訪問入浴) 山岸 宣威氏



左上から松村NS, 向原医師, 勢川CM
 左下から西山OT, 山岸氏, 黒田薬剤師

事例：ホスピスに入院していたがコロナ禍で家族との面会制限から在宅療養を選択し退院。退院後約3か月間

自宅療養し家族等に看取られ永眠されたケースを実際の支援者が振り返る。

パネリストディスカッション：事例を振り返り、各専門職より「支援・役割」「チームが大切にした事、協働支援した事」を検討⇒「キーパーソンが、家族から友人に変更時の対応」「仕事復帰希望を失わず療養と看取りの現実の中、刻々と変化する本人・キーパーソン・家族に対して支援者が連携して対応」以上の点についてパネリストより貴重な発表をいただきました。

質疑応答：「在宅看取りにおける本人や家族の意志決定」「独居身寄りのない方の在宅看取り」「独居の方の看取りの現状」等をパネリストの皆様よりご意見を頂き学びました。

学び：[アンケートより一部紹介]・在宅看取りは本人だけでなく家族全体をサポートする必要がある。・情報共有の大切さを改めて感じた。・パネリストの情報の多さや家族友人の調整学びになった。等の意見が寄せられました。

まとめ：4/15ワールド・カフェ「在宅看取り」の課題[本人・家族の気持ちの揺れ動きのフォロー、情報共有、在宅看取りでの支援チームの在り方]を向原医師が携わったケース支援者によるパネリストディスカッションを通して課題が明確になった。アンケートより「内容はとても素晴らしかった。今後増えてくる可能性があるので参考になった」等。又事例検討会の学びについての問いでは「とても役立つ・やや役立つ」96%高評価でした。

今後の課題：アンケートより在宅看取り未経験者が38%。それを踏まえてACPや在宅看取りについての研修会開催を検討していきます。

■ 第11回ワールド・カフェ



(多職種によるグループワークを活用した研修)

開催日時：令和3年10月21日(土)14:00～15:00
 場所：オンライン (Zoom) 参加者：37名
 テーマ：病院と在宅との連携について
 内容：退院時ケアプランの現状と問題について
 兵庫県立リハビリテーション中央病院 医療福祉相談室長 阿部解子氏より報告。
 後テーマに沿ってグループワーク・発表。
 参加職種：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、MSW、PSW、リハ職、ケアマネジャー、あんしんすこやかセンター職員、施設職員



阿部解子氏

グループワーク：1グループ3～4人、各グループ進行役は事前に決め、ブレイクアウトルームにて『地域医療連携室について思うこと』『病院と多職種連携について思うこと』『患者さん・利用者の地域生活をふまえて退院支援を行うには』を話し合いました。後、8職種の方に発表をいただきました。



第11回ワールド・カフェ

11 第3ラウンド：テーマ『患者さん・利用者の地域生活をふまえて退院支援を行うには』

第11回ワールド

11-1 第1ラウンド：テーマ『地域医療連携室について思うこと』

第11回ワールド・カフェ

11-2 第2ラウンド：テーマ『病院と多職種連携について思うこと』

11-3 第3ラウンド：テーマ『患者さん・利用者の地域生活をふまえて退院支援を行うには』

11-4 第4ラウンド：テーマ『退院支援について思うこと』

11-5 第5ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-6 第6ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-7 第7ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-8 第8ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-9 第9ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-10 第10ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-11 第11ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-12 第12ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-13 第13ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-14 第14ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-15 第15ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-16 第16ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-17 第17ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-18 第18ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-19 第19ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-20 第20ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-21 第21ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-22 第22ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-23 第23ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-24 第24ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-25 第25ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-26 第26ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-27 第27ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-28 第28ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-29 第29ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-30 第30ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-31 第31ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-32 第32ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-33 第33ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-34 第34ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-35 第35ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-36 第36ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-37 第37ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-38 第38ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-39 第39ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-40 第40ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-41 第41ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-42 第42ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-43 第43ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-44 第44ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-45 第45ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-46 第46ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-47 第47ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-48 第48ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-49 第49ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-50 第50ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-51 第51ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-52 第52ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-53 第53ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-54 第54ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-55 第55ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-56 第56ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-57 第57ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-58 第58ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-59 第59ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-60 第60ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-61 第61ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-62 第62ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-63 第63ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-64 第64ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-65 第65ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-66 第66ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-67 第67ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-68 第68ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-69 第69ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-70 第70ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-71 第71ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-72 第72ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-73 第73ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-74 第74ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-75 第75ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-76 第76ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-77 第77ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-78 第78ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-79 第79ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-80 第80ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-81 第81ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-82 第82ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-83 第83ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-84 第84ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-85 第85ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-86 第86ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-87 第87ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-88 第88ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-89 第89ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-90 第90ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-91 第91ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-92 第92ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-93 第93ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-94 第94ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-95 第95ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-96 第96ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-97 第97ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-98 第98ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-99 第99ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

11-100 第100ラウンド：テーマ『在宅療養について思うこと』

学び：アンケート一部紹介
 【問】「研修会参加目的は」⇒「地域連携室について知りたい」「連携するにあたり、他職種の方々の意見が聞きたい」「地域連携室、退院支援を学びたい」「研修会で得たものは」⇒「課題が見つかった」「話し合いの大切さ、共有、すり合わせの重要性」「伝える項目を再度検討」「情報共有する場が大切」「研修会は役立つものでしたか」⇒5段階評価で5・4と高評価でした。
 まとめ：地域医療連携室の方からの報告より学び、グループワークでは、話しやすい進行によりラウンド毎に活発な意見交換ができました。8人の発表者の意見より、多職種と話すことで、新たな気付き、連携の学びに繋がった事が伺えました。オンラインですが、ワールド・カフェに皆様楽しんでご参加いただけただご様子でした。
 今後の予定：皆様からのご意見を、第10回多職種事例検討会(R4年2～3月頃開催予定)の内容に反映させていただきます。



■ 第16回医療介護関係者による研修会

開催日時：令和3年11月11日(木)18:00～20:00
 場所：オンライン(Zoom) 参加者：66名
 テーマ：新型コロナの情報共有し、明日からの多職種連携にいかしていこう！
 内容：【第1部】講演「新型コロナウイルス感染症～電話診療・往診からみえた現状について～」【第2部】パネリストセッション「コロナ支援のこれまでとこれから」質疑応答
 参加職種：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハ職、歯科衛生士、管理栄養士、ケアマネジャー、訪問介護職員、通所介護職員、あんしんすこやかセンター職員

座長：西区医師会 副会長 中本 博士氏
 講師：西区医師会 副会長 久野 英樹氏
 パネリスト：枝吉調剤薬局 管理薬剤師 宮城 要氏
 たまつ訪問看護ステーション 看護師 長田 敏子氏
 あいの森 管理者 藪本 眞理子氏



講演会：「第4～5波の電話診療・往診・施設対応について」「電話診療では患者の不安を共有し、傾聴して寄り添うことが大事」「保健師、薬剤師、看護師、医師がチームとなることで病床逼迫している状況においても力強い後方支援となりえる」等

パネリストセッション：「薬局における調剤支援(薬の配送と服薬指導)」では、配送の際の準備、

服薬指導について。「訪問看護ステーションから見た課題と提言」では、新型コロナウイルス感染症に関わる訪問看護の6つのポイント他について。「コロナ感染症『第三波』と『第五波』比較してみてケアマネジメントの実践の影響」では、コロナ禍ターミナル入院患者が最期は自宅を選択される方が多かった他について。これからは、連携の重要性をパネリストよりお話を伺いました。



左上から中本医師、久野医師
 左下から宮城薬剤師、長田NS、藪本CM

質疑応答：各職種へ「新型コロナウイルス感染症自宅療養者への健康管理支援」「コロナ患者宅への訪問時の姿勢・モーション」「ワクチン供給」「同職種との連携」等、多数頂きました。

学び：アンケートより「多職種の実践を伺い、今後自分にできる事を行っていききたい」「現場の大変さがよく伝わりました」「講師・パネリストから出された課題を検討していきたい」等、多数ご意見を頂きました。研修会は「大変役立つ・役立つ」と高評価でした。

まとめ：現場でご尽力されている方々からのお話は、各職種今後の「課題・気付き」を得る貴重な機会になりました。今後も、新型コロナウイルス感染症の動向に注視し、状況に応じて研修会開催を検討をしていきます。



■ 西区医療介護地域資源マップ2021年度版発行

西区の在宅療養を支える医療・介護の地域資源情報を、西区地域資源マップ作成委員会の皆様と共に「西区医療介護地域資源マップ」を2018年3月・2020年3月に発行。この度、2021年度版を掲載事業所の皆様のご協力のもと発行する事ができました。ご協力いただきました事業所様ありがとうございます。今後、在宅療養支援・多職種連携に、事業所内でご活用下さい。間もなく、西区3師会事務局、掲載事業所、基幹病院・行政機関へお届けいたします。

掲載事業所[西区内]：病院、診療所、歯科診療所、保険調剤薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、あんしんすこやかセンター、小規模・看護多機能型居宅介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護 ※掲載許可を頂いた事業所を掲載しています。未掲載事業所のお問い合わせは、西区医療介護サポートセンターまで。

■ 研修会開催予定(詳細は西区医療介護サポートセンターのホームページをご覧ください)

開催予定日時	場所	テーマ
R4.2月10日(木) 14:00～15:40	オンライン (Zoom)	講演会「糖尿病を持つ人を地域で支えるために出来ること」 講師：糖尿病内科かいせいクリニック 院長 松田友和氏 糖尿病看護認定看護師 阿部 梢氏
R4.3月頃(木) 14:00～15:30	オンライン (Zoom)予定	第10回多職種事例検討会(仮) 入退院事例について パネリスト：調整中

西区医療介護サポートセンターは、医療、介護、福祉の関係者からの在宅医療に関する相談への対応や、各種の研修、市民の方への在宅医療・介護に関する普及啓発などの業務を行っております。医療・介護・福祉関係者の皆様、お気軽にご相談ください。

西区医療介護サポートセンター コーディネーター：溝端
 受付時間：月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 電話：078-797-7830 FAX:078-797-7831
 西区医療介護サポートセンター：<https://kobe-iks.net/area/nishi>



西区医療介護サポートセンターホームページQRコード

★次号は令和4年4月発行予定です

※「西区サポセン通信」Vol.1～今月号までホームページに掲載しています。上のQRコード・URLからご覧いただけます。